



来月の消費予報

ボーナスやセールなどの影響で、消費意欲指数は前月より上昇。 根強く続いた節約意識も、今月はやわらぐ気配。

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

7月の消費意欲指数は49.6点。前月比+2.0ポイント。低調が続いていた消費意欲指数ですが、今月は例年の7月と同様に50点近い数値となり、2016年では1月に次ぐ高い結果となっています。

7月の消費意欲指数



↑ 前月比 2.0 ポイント
↓ 前年同月比 -1.0 ポイント

▲ : 前月比／前年同月比で上昇 ▼ : 前月比／前年同月比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか？」と質問。※詳細は4ページ

カテゴリー別 消費意向



★ UP : 前月比で 3 ポイント以上の上昇

● DOWN : 前月比で 3 ポイント以上の下降

「来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか？」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月と比較して作成。※詳細は3ページ

7月のポイント

Point 1：金銭的余裕と季節的消費で、節約意識もやわらぐ

例年、7月は消費意欲指数が上昇する傾向があります。今年も前月から+2.0ポイント伸びて、49.6点となりました。消費意欲の理由(自由回答)を見ると、「ボーナスが出るので日頃我慢している服やアクセサリーを買いたい」など金銭的な余裕を挙げる人が前月から増加(16年6月61件→16年7月81件)。また、「セールがある」(16年6月8件→16年7月50件)や、「服が欲しい」(16年6月53件→16年7月70件)など、季節的な声も増えています。

2016年は、季節の変わり目や大型連休でも消費意欲の低調が続いていました。しかし、7月は「今までに多く使ったので節約する」といった声が前月よりも大幅に減少(16年6月174件→16年7月65件)。根強く続いていた節約意識もやわらぐ月となりそうです。

Point 2：特に、女性の方がボーナスやセールの影響で消費意欲は上向き

7月の消費意欲を性別で比べると、男性よりも女性の消費意欲指数が伸びています(前月比: 男性+1.1ポイント、女性+2.9ポイント)。自由回答でも、ボーナスなどの金銭的要因やセールを理由に挙げているのは女性の方が多くなっています。

※ ボーナスなど金銭的理由を挙げる声: 男性37件、女性44件

※ セールを理由に挙げる声: 男性2件、女性48件

Point 3：消費税引き上げ先送りの影響は特に見られない

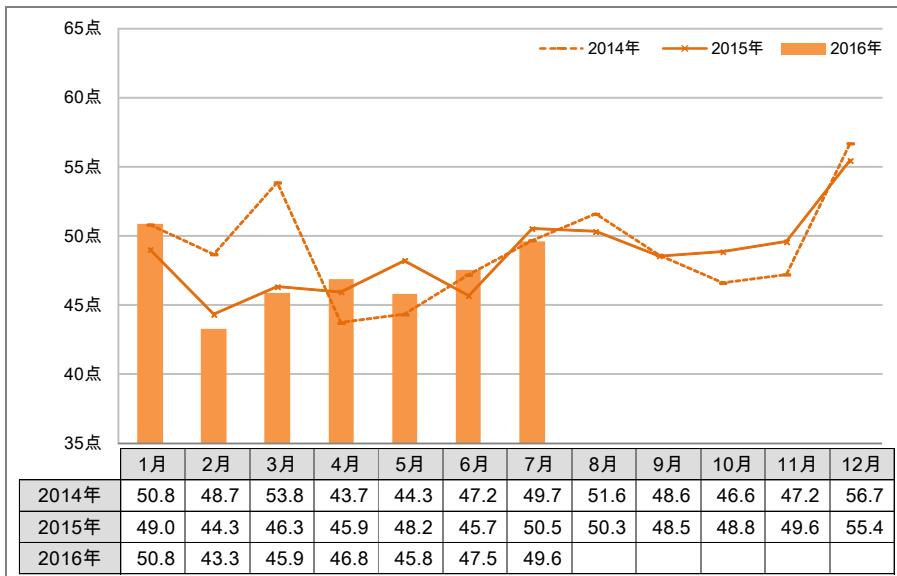
消費税引き上げの先送りに関する声はほとんど見られませんでした。わずかに、「買う予定のものがあつたが、増税が先送りになったからまだ購入しなくても良い」といった声が挙がっただけで、今のところは、先送りによる消費への影響は少ないようです。

消費意欲指数

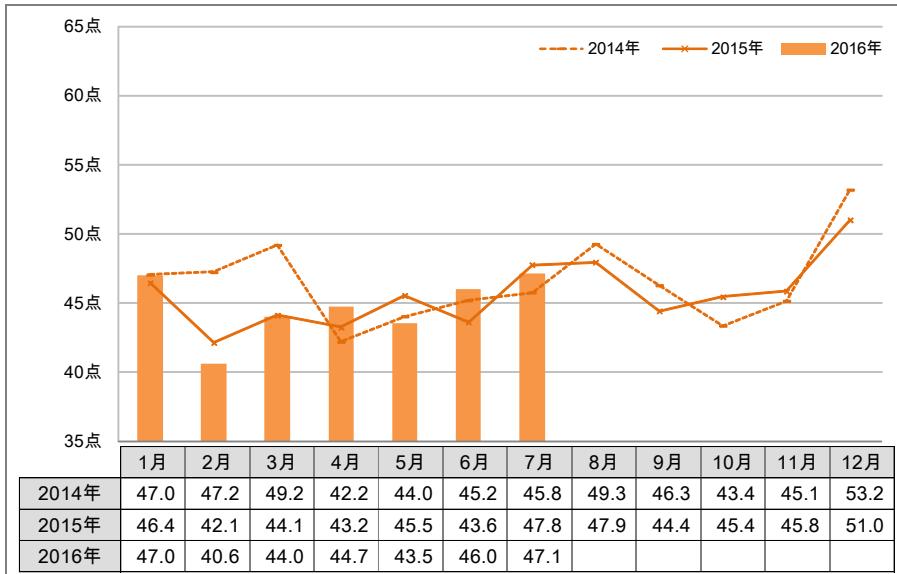
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

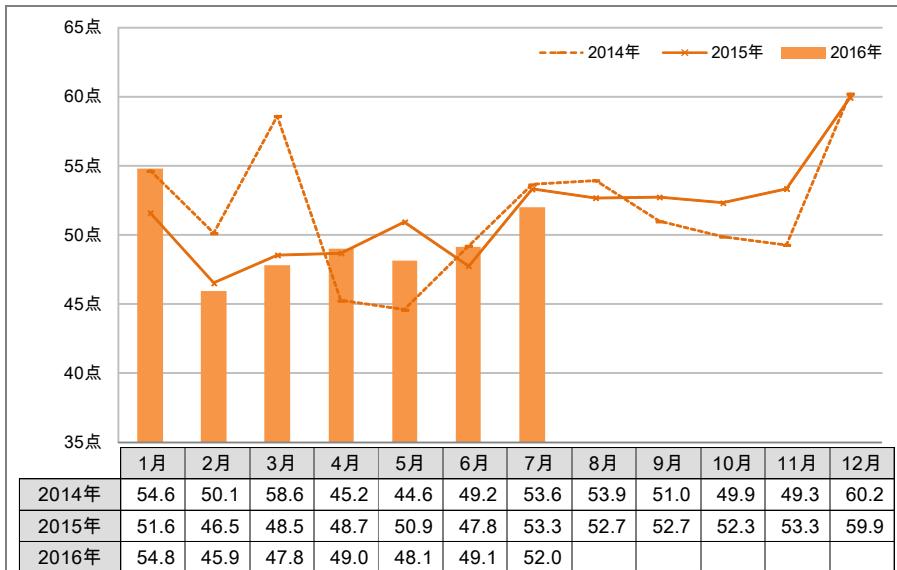
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

「ボーナスなど金銭的余裕」に関する生活者の声

- ・本格的な夏服を購入したくなるであろう。またボーナスの時期も重なるため (90点・男性22歳・神奈川県)
- ・賞与の後であり、旅行の計画や夏・秋のスーツ等の購入 (80点・男性33歳・埼玉県)
- ・ボーナス直後だし、セールもあるので、何か夏物を買いたい (80点・男性42歳・愛知県)
- ・ちょっとボーナスがある (70点・男性57歳・奈良県)
- ・臨時の収入が少しあるので少し高めの70点 (70点・男性68歳・愛知県)
- ・そこそこバイトでお金もたまっているので、夏物を買いたいと思うから (70点・女性20歳・千葉県)
- ・ボーナスが入る時期だから。バーゲンや化粧品の買い物を楽しみたい。できれば冷蔵庫も買いたい (70点・女性33歳・大阪府)
- ・ボーナスが出た後なので、気持ちだけではなく経済面でも消費意欲を後押しする環境がある (80点・女性42歳・東京都)
- ・ボーナスが出るので日頃我慢している服やアクセサリーを買いたいと思います (80点・女性54歳・愛知県)
- ・ボーナスがでたので (70点・女性60歳・三重県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2016年7月(%)	前月比(pt)	前年同月比(pt)
全体	28.6	+3.3	-2.9
男性	25.4	+3.1	-3.0
女性	31.8	+3.5	-2.9

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(379人)

順位	カテゴリー	7月(%)	前月比(pt)
1	ファッション	60.6	+3.3
2	旅行	41.7	+13.5
3	外食	38.2	-0.3
4	食品	33.8	-5.5
5	レジャー	29.8	+5.5
6	飲料	27.3	-4.1
7	書籍・エンタメ	26.6	-3.2
8	化粧品	23.8	-2.1
9	理美容	21.9	-5.5
10	家電・A V	20.5	-3.2
11	日用品	16.8	-6.4
12	装飾品	15.2	+0.4
12	インテリア用品	15.2	+1.5
14	パソコン・タブレット・周辺機器	11.7	-3.6
15	スマートフォン・携帯電話	8.4	-1.1
16	車・バイク	8.2	-4.5

【男性】(192人)

順位	カテゴリー	7月(%)	前月比(pt)
1	ファッション	46.9	+4.0
2	旅行	46.4	+19.6
3	外食	35.4	+2.7
4	レジャー	29.7	+8.3
5	書籍・エンタメ	29.2	-7.1
6	食品	24.5	-8.2
7	家電・A V	23.4	-7.0
8	飲料	22.4	-2.6
9	パソコン・タブレット・周辺機器	17.7	-8.5
10	車・バイク	15.1	-5.7
11	装飾品	11.5	-3.4
12	インテリア用品	10.9	-0.4
13	スマートフォン・携帯電話	9.9	-5.6
14	日用品	8.9	-6.6
15	理美容	8.3	-3.6
16	化粧品	5.2	-0.2

【女性】(237人)

順位	カテゴリー	7月(%)	前月比(pt)
1	ファッション	71.7	+3.0
2	食品	41.4	-3.1
3	外食	40.5	-2.6
4	化粧品	38.8	-3.4
5	旅行	38.0	+8.6
6	理美容	32.9	-6.9
7	飲料	31.2	-5.3
8	レジャー	30.0	+3.5
9	書籍・エンタメ	24.5	-0.1
10	日用品	23.2	-6.2
11	インテリア用品	18.6	+3.0
12	家電・A V	18.1	-0.4
12	装飾品	18.1	+3.4
14	スマートフォン・携帯電話	7.2	+2.5
15	パソコン・タブレット・周辺機器	6.8	+0.2
16	車・バイク	2.5	-3.7

■:前月比で3ポイント以上の上昇

■:前月比で3ポイント以上の下降

調査概要

■ 質問項目(質問文)

【消費意欲指数】

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

【特に買いたいモノ・利用したいサービス】

あなたが来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、
生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20~69歳の男女

対象者割付 調査地域①~③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	119	154	187	140	155	755
女性	114	150	181	138	162	745
合計	233	304	368	278	317	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2016年6月2日(木)~6日(月)(2012年4月から調査開始／毎月上旬に実査)

調査機関 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

<備考>

2016年1月まで発行していた「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、「来月の消費予報」がその後を引き継いでいます。
「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、毎月初旬に当月の消費意欲指数を発表していましたが、
「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(菅・内瀬) TEL.03-6441-6450

株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2016-07/>)から
ダウンロードしていただけます